



教育支援課 学校指導担当

広田 美有

略 歴

2013年 4月採用

2022年 第1子誕生・育児休業取得

2023年 現所属に異動



育児短時間勤務取得

Q 育児取得時の周りの反応や不安に感じたことは？

私は、教育支援課学校教育担当に在籍しているときに約一年四か月育児を取得しました。最初、上司や同僚に報告するときに、迷惑をかけてしまう・・・他の人たちの仕事の負担が増えてしまう・・・、と少し後ろめたく思うこともあったのですが、実際に妊娠を報告したときに皆さんが喜んでくれて、仕事のことは気にしなくていいからゆっくり休んでね、とあたたかい声をかけてもらったことで、とても安心したのを覚えています。同僚の中には先輩ママもいたので、いろいろと相談にも乗ってもらい、とても心強かったです。

Q 職場に復帰する前、不安に感じたことは？

一年以上も仕事から離れており、さらに復帰する年度に担当内異動があり、育児前と異なる職場に復帰したので、うまくやっていけるのかとても不安でした。ですが、育児中の間に職場から連絡をもらい、課内の状況や復帰後の仕事内容など、定期的に連絡をしていたので、スムーズに復帰することができたと思います。復帰後も皆さんにサポートしてもらいながら、業務をすることができています。

Q 育短取得を考えたきっかけは？

育児から復帰するにあたって、朝の準備や子どもの保育園など、子どもがいる生活の中で時間的に不安なことも多く、また、子どもが小さいこの期間を一緒に過ごせるのも今しかないと思い、取得を決めました。

Q 育短取得の際に不安に感じたことは？

フルタイムより時間が短いので、与えられた仕事を時間内に終えることができるのか、職場の人に迷惑をかけてしまうのではないかと不安に感じていましたが、上司や同僚に相談に乗ってもらいながら、業務内容を調整したりサポートしていただき、とても感謝しています。

Q 取得してよかったと感じたことは？

私は九時三〇分に出勤し、一五時一〇分に退勤する勤務体系を選んだのですが、朝は通常より支度する時間に余裕もあり、車通りも通勤ラッシュと重なっていないので、スムーズに保育園、職場へ行くことができ丁度良いです。また、帰りもスーパーに寄って買い物してから子どもをお迎えに行くことができ、帰ってきてからも子どもと遊ぶ時間もあつた、夜ご飯の支度することもでき、取得してとても良かったと感じています。

M 取得を検討している方へのメッセージ

取得を検討している方の中には、私と同じように上司や同僚に迷惑をかけてしまうのではないかと不安に思う人もたくさんいるかと思いますが、もちろん、職場の方々の理解と支えがあつてこそなのですが、子どもが小さい時期はその時しかないなので、うまく制度を使いながら、子どもとの時間を大事にしながら、自分に合った勤務をしてもらえたら良いのではないかと思います。

